

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報
令和3年度第1四半期（令和3年4月～6月）

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州、ビハール州、オディシヤ州、ジャールカンド州においては、これまで、極左武装勢力マオイストの脅威が存在してきたほか、国政与党BJPと西ベンガル州政与党TMC間での衝突・抗争等により、死傷者を出す事件が発生してきました。

5月2日に、約1か月に及んだ西ベンガル州議会議員選挙の開票が実施されたことにより、多くの政党間抗争が発生した。

今期は、主に次の事案が発生しました（当地紙報道による）。

（1）政党間抗争関係

【4月】

- 1日、西ベンガル州 Barasat 地区で、BJP支持者とTMC支持者の衝突が発生し、少なくとも12人が負傷した。
- 1日、西ベンガル州 Nandigram 地区で、BJPリーダーSvendu Adhikari氏の車列が、群衆から石を投げつけられる等して襲撃されたが、同氏は無事であった。
- 2日、西ベンガル州 Daiamond Harbour 地区で、BJP候補者が集団に襲われて負傷し、車両が損壊した。BJPは、TMCの犯行と批判している。
- 4日、西ベンガル州 NorthParganas 地区 Basirhat で、TMC地区リーダーが何者かに足を撃たれて病院に搬送された。TMCは左派グループの犯行と主張している。
- 5日、西ベンガル州 Sashan 地区で、左派候補者がTMC支持者とみられるグループから暴行を受け、地面に押しつけられる等した。
- 5日、西ベンガル州 Dalkhola 地区で、行方不明になっていたBJP党員の遺体が、木にぶら下がった状態で発見された。
- 6日、第3回投票が実施された地区で、政党間での衝突が頻発した。中でも、西ベンガル州 Hooghly 地区では、BJPとTMC等との衝突が特に激しくなり、2人が死亡したほか、候補者5人も暴行を受けるなどの被害を受けた。
- 7日、西ベンガル州 Dubrajpur 地区で、行方不明になっていたBJP支持者が遺体で発見された。
- 8日、西ベンガル州 Sildanga 地区で、TMC候補者が乗車する車両が何者かに襲われ、車両が破壊され、同人が負傷した。
- 8日、西ベンガル州 South Howrah 地区で、BJP候補者が何者かのグループから襲われ負傷した。

- 8日、西ベンガル州コルカタ市内で、BJPとTMC支持者間の衝突が約2時間にわたって継続し、BJP候補者が負傷した。この衝突で、警察当局は4人を逮捕した。
- 10日、西ベンガル州 Cooch Behar 地区の投票所で、300人から350人位のTMC支持者の群衆が暴徒化し、投票所や治安部隊を襲撃した。
これに対し、中央から派遣中の治安部隊が発砲し、TMC運動員4人が死亡（5人との報道もあり）し、7人が負傷した。
- 17日（西ベンガル州議選の第5回投票日）、西ベンガル州 Bidhanagar 地区で、BJPとTMC支持者が投票所付近で衝突し、レンガや石を投げ合うなどして、少なくとも8人が負傷した。
- 18日、西ベンガル州 Malda 地区で、BJP候補者が何者かに銃撃され、喉を撃たれたが、命に別状はない。
- 18日、西ベンガル州 Nadia 地区の茂みの中で、BJP党员1人が外傷を負い意識不明の状態で見つかった。
- 19日、西ベンガル州コルカタ市内で、BJP候補者が選挙運動中にTMC支持者ら約50人に襲われ、レンガ等を投げつけられた。
- 20日、西ベンガル州 Murshidabad 地区で、TMCと野党 kongress 支持者が衝突した。
この衝突で、TMC支持者らは粗製爆弾や銃を使用した結果、kongress 支持者1人が死亡し、6人が負傷した。
- 22日、西ベンガル州 Titagarh 地区にある地元のクラブで爆発が起き、1人の男性が死亡、ほかにも重傷者が出た。警察は現場から少なくとも8個の爆弾等を押収した。現場で小型爆弾が密造されていた可能性が高いとのことで、亡くなった男性は、TMCの支持者だったと言われている。
- 22日、西ベンガル州 Kanchrapara 地区の複数の場所で、BJPとTMCとの間で衝突があり、粗製爆弾を投げ合う事件が発生し、少なくとも4人が負傷した。
- 22日、西ベンガル州 Titagarh 地区 Titagarh 駅近くの空き家で、粗製爆弾が爆発し、1人が死亡、1人が重傷を負った。
警察は、2人が粗製爆弾の製造に関わっていて、それが誤って爆発したのではないかと見ている。
- 29日、西ベンガル州コルカタ市内 Mahajati Sadan 前で、粗製爆弾2個が爆発したが、怪我人等は無かった。
TMC候補者は、「投票者を脅迫するためだ」と主張している。
- 30日、西ベンガル州 Uttar Shabazour 地区で、共産党（CPM）支持者3名がTMC候補者の車両に轢かれ、1人が死亡、残りの2名が重傷となった。TMCは事実を

否定している。

【5月】

- 2日、西ベンガル州 Haldia 地区で、BJPリーダーSuvendu Adhikari 氏の車列が、群衆から石を投げつけられるなどして襲撃された。
- 2日、西ベンガル州 Arambag 地区で、BJPの事務所がTMC支持者によって放火の被害に遭った。TMCは関与を否定している。
- 2日、西ベンガル州コルカタ市内 Behala 地区で、BJP 党員で歌手の男性が、約30~35人のグループによって自宅から引きずり出され、ケーブルを首に巻かれ、殴られて死亡した。
- 2日、西ベンガル州 Odishapara 地区で、3人のTMC支持者がバイクで走行中に、BJP 党員に襲撃され、3名とも病院に搬送されたが死亡が確認された。
- 2日、西ベンガル州 Nabgram 地区で、BJPチーフの男性宅が襲撃され、男性の母親が殺害された。また、同地区の家数十軒も破壊され、略奪された。警察によると、この事件に関連して23人が拘束された。
- 2日、西ベンガル州 Samaspur 地区で、選挙結果が発表された後、TMC支持者とBJP支持者の間で衝突があり、TMC支持者の男性が死亡するという事件が発生した。
- 3日、西ベンガル州 Belegkata 地区で、TMC候補者に敗れたBJP候補者の自宅が、TMCの関係者とされる者に放火された。
- 3日、西ベンガル州 Asansol 地区、Nandigram 地区で、BJPの事務所がTMCの支持者から放火される等の被害に遭った。
- 3日、西ベンガル州 Balurghat 地区、Khalishadi 地区、Dubrajpur 地区、Seuri 地区等複数の地区で、BJP支持者の自宅が破壊、略奪される等した。
- 4日、西ベンガル州 Alipurduar 地区で、帰宅途中のTMCブースワーカーが鋭利な刃物で襲われ、死亡した。
- 5日、西ベンガル州 Cooch Behar 地区で、前日の夜に電話を受けて外出したTMC 党員の男性が、切り刻まれて死んでいる状態で発見された。
- 5日、西ベンガル州 Khandaghosh 地区で、前日の夜から行方不明になっていたBJP 党員の男性が、首に縄がかけられた状態で死んでいるのが発見された。
- 7日、西ベンガル州 West Midnapore 地区で、V Muraleedharan 外務大臣の車両が襲撃され、後部ガラスが破壊された。この事件で、警察は8人を逮捕した。

- 7日、西ベンガル州 Dinhatra 地区で、B J Pの候補者に敗れたT M C候補者が、B J P支持者らに車から引きずり出されて暴行を受けた。
- 12日、西ベンガル州 Nanoor 地区で、5月3日開票後の衝突による暴力で負傷し入院していたT M C党員が死亡した。
- 16日、西ベンガル州 Birghum 地区で、川の近くに置いてあった箱を子供たちがおもちゃと思って遊んでいたところ、中に入っていた粗製爆弾が爆発し、11歳の少年が死亡した。
- 17日、西ベンガル州 North24Parganas 地区で、粗製爆弾が無差別に投げ込まれ、T M C支持者が死亡し、3人が重傷を負った。
また、このニュースがこの地域で広まった後、いくつかの家が略奪され、炎上した。
- 18日、西ベンガル州コルカタ市内 Nizam Palace 前（インド中央捜査局C B Iコルカタ支局前）で、前日にナランダおとり捜査事件とよばれる汚職事件で逮捕されたT M C党幹部4名の釈放を求めて、何百人ものT M C支持者が押し寄せ、道路を封鎖する等の混乱が発生した。
- 18日、西ベンガル州 Bhagabanpur 地区で、T M Cの党員が党事務所の外に座っていたところ、突然、数人のグループから爆弾を投げられ、数発の銃弾を発射され負傷した。
- 20日、西ベンガル州 Asansol 地区で、T M CとB J Pの党員間で粗製爆弾を投げ合う衝突が発生し、数名が負傷した。
- 23日、西ベンガル州 Balurghat 地区で、T M Cの支援を受けた者がB J Pの地区代表を殴ったとして告発された。
- 23日、T M C支持者でもあるトリウッド女優を脅迫した容疑でB J P党員が逮捕された。警察によると、被害者である女優は数日前から知らない電話番号から電話で「悲惨な結果をもたらすだろう」と脅されていたとのこと。
- 29日、西ベンガル州 South 24 Parganas 地区で、B J Pブース・プレジデントが殺害された。また、一緒にいたほかの2人も重傷を負い入院した。
- 30日、西ベンガル州 Coach Behar 地区で、B J P党員の遺体が木にぶら下がった状態で発見された。B J P側は、被害者の自宅が以前も破壊され、また、T M Cの殺害リストに載っていたと主張している。

【6月】

- 1日、西ベンガル州 Bhatpara 地区で、地元のB J Pリーダーが住むアパート1階にあるテナントが爆破された。被害者はT M Cによる犯行と主張しているが、T M Cは関与を否定している。

- 3日、西ベンガル州 Howrah 地区の新型コロナウイルスのワクチン接種会場で、順番待ちをしていた人々が、「TMC 党員は、予防接種を受ける際に不当な便宜を受けている。」と非難を始めたことで、両者の間で衝突が発生した。
- 3日、西ベンガル州 North 24 Parganas 地区で、地元BJPリーダーの家の外で銃撃が発生した。BJP側は、この事件の背後にはTMCが支援する者がいると主張した。
- 6日、西ベンガル州コルカタ市内 Khidirpore で、州議員選挙との関連性については不明なるも、BJPの事務所から約 100 メートル離れた場所から、54 個の粗製爆弾が発見された。
- 6日、西ベンガル州 North 24 Parganas 地区で、BJP支持者の男性が、覆面をした数人の男たちから少なくとも3個の粗製爆弾を投げつけられた。男性は、病院に搬送されたが、死亡が確認された。
- 8日、西ベンガル州 Purba Medinipur 地区で、前日から行方不明になっていたBJP 党員の男性が、池に浮かんで死んでいる状態で発見された。
- 8日、西ベンガル州 Tiljala 地区でイスラム教徒のTMC支持者らによって寺院が破壊された。また、事件取材していたジャーナリストがTMC支持者の住民から襲撃されケガを負った。
- 10日、西ベンガル州 Pandua 地区で、BJPの議員の車が、以前に抗争で暴行を受けた被害者の面会のため、入院先の病院に到着したところ、TMCの支持者グループから、石を投げつけられ、罵声を浴びせられる等した。
- 10日、西ベンガル州 Chandannagar 地区とコルカタ市内 Ballygunge 地区において、激しい衝突が発生し、事態を鎮めるために大規模な警察部隊が投入された。
- 11日、BJPの議員が政党間抗争の被害者を訪問した際、TMCの支持者から棒のようなもので殴られる被害に遭った。同行していた3人のBJP 党員も重傷を負った。
- 12日、西ベンガル州 Birbhum 地区で、BJPの党員がTMCの支持者に鋭利な武器で襲われ、死亡した。
- 26日、西ベンガル州 North 24 Parganas 地区 Kamarhati で、警察は閉鎖されたアパートから国製爆弾 50 個を回収した。地元のTMC評議員の息子が定期的にそこに通っていたとされる。
- 27日、西ベンガル州 North24Parganas 地区で、空き校舎内で粗製爆弾が爆発し、3人が負傷した。地元BJPによると、男性らはTMCの熱烈な支持者で、BJPを攻撃するために爆弾を製造していたと主張している。

- 29日、西ベンガル州コルカタ市内 Jadavpur で、州議員選挙の結果発表以降の政党間抗争事件を調査するために同所を訪問していた国家人権委員会 (NHRC) のチームが、襲撃された。

(2) マオイスト関係 (報道から抜粋)

- 4月26日、South Eastern Railway (SER) ハウラー・ムンバイ間を結ぶ路線のジャールカンド州 Sonua 駅と Lotapahar 駅の間において、マオイストのメンバーと思われる人物が、線路を爆破した。この爆破により、ハウラー・ムンバイ間の上り線列車が数時間にわたり停止した。
- 5月17日、ビハール州 Gaya 地区で、マオイストと思われる約15人のグループが、ガヤーパトナ間の高速道路にある採石工場に駐車していた多くの大型車両に放火した。彼らが残したメモには、「このような工場は環境に有害である。労働者たちは、注意してもこの教訓を学ぶことはなかった。」と書かれていた。
- 5月19日、ビハール州 Gaya 地区ドウマリヤ地域で、治安部隊と州警察の合同部隊がマオイストと銃撃戦となり、4人のマオイストを無力化し、ライフル1丁を含む4丁の武器を押収した。
- 5月30日、オディシャ州の村の保育園がマオイストによって放火された。マオイストは、村の郊外で大規模な植林を行おうとしている森林局の取り組みに抗議して、苗木に火をつけて破壊したとのこと。
- 5月31日、オディシャ・チャティスガル州の国境付近で、女性幹部のマオイストが治安部隊との銃撃戦の末、死亡した。治安部隊は現場から大量の銃、実弾を押収した。
- 6月5日、ジャールカンド州 Gumla 地区の Jamti 森林で、ジャールカンド州警察と治安部隊は、マオイストの地区司令官とその共犯者が森の中で活動しているという情報に基づき捜索を行ったところ、ビニールに包まれて地中に埋められたけん銃、その他の資材を押収した。
- 6月11日、オディシャ州 Bargarh 地区バンジャグンダ付近の森林地帯で、国境を接するチャティスガル州から約10人のマオイストが進入したとの情報に基づき捜索を行っていた治安部隊とマオイストとの間で銃撃戦があり、マオイスト幹部が死亡した。
また、現場からは数名のマオイストが逃走し、チャティスガル州の森林に逃げ込んだ可能性があるとのこと。現場からは、ライフル銃と弾倉、国製の銃器、マオイストの広報資料などの証拠品が押収された。
- 6月12日、ジャールカンド州 Latehar 地区のジャングルで、地元の村の若者6人が狩りに行っていたところ、反マオイスト作戦に従事していた治安部隊に向け、何らかの理由で銃を発砲し、応戦した治安部隊によって1名が死亡、1名が手にケガを負った。後に、彼らはマオイストではなく、地元の若者であることが判明した。

- 6月14日、オディシャ州 Malkangiri 地区と Koraput 地区の境界地域で、マオイストが破壊活動を行うために集結しているという情報に基づき、オディシャ州警察の特殊作戦グループ (SOG) と Malkangiri 地区有志部隊からなる合同部隊が捜索作戦を実施していたところ、翌15日、合同部隊がマオイストから突然の発砲を受け銃撃戦となった。

マオイストは現場から逃走したが、合同部隊は付近からライフル1丁、34発の弾丸とマガジンを含む武器・弾薬、キットバッグ、デジタルカメラ、雑誌、起爆装置、簡易爆弾の材料を回収した。

(3) 一般犯罪関係 (報道から抜粋)

- 5月3日、西ベンガル州コルカタ市内 Beliaghata 地区において、コルカタ市内に実在する大手診療センターの従業員を名乗る男に、偽のコロナウィルスワクチンを自宅で接種されたとして、市内在住の女性や同じく被害に遭った近隣住民らが警察に被害届を提出した。女性は予防接種を受けてから数週間経っても予防接種証明書を手でできなかったことを不審に思い、診療所に確認したところ、診療所は、出張でワクチンを接種したことはないと回答して発覚した。
- 6月6日、西ベンガル州 Suri 地区の NH60 で、コルカタ市警 STF (特殊部隊) と Birbhum 警察は、Bihar 行きのトラックの荷台から、爆発物 20kg、弾薬 30 発、拳銃 5 丁、弾倉 10 個を押収し、3人の密売人を逮捕した。
- 6月7日、ビハール州 Naugachia 地区と Bhagalpur 地区で、州警察が2つの違法な銃製造工場を摘発し、この密売に関わっている 10 人を逮捕した。警察が密告を受けて捜索を行ったところ、未完成の国産拳銃 20 丁、完成拳銃 4 丁、銃 2 丁、弾倉数個、実弾、バイク 2 台、ドリル、溶接機などを押収した。
- 6月9日、西ベンガル州 Hooghly 地区において、違法な酒の価格設定をめぐって地元住民同士で衝突があり、粗製爆弾、レンガ、石を投げ合うなどした。この衝突で警察官数名を含む 10 名が負傷し、少なくとも 6 名が逮捕された。
- 6月9日、ビハール州 Vaishali 地区で、5～6人の武装した強盗が銀行に押し入り、店員と客をひものようなもので縛って拘束し、現金約 1,190 万ルピーを奪って逃走した。店員と客にケガは無かった。
- 6月9日、西ベンガル州コルカタ市内 New Town 地区で、パンジャブ州から逃亡していた指名手配中のギャング 2 名と家宅捜索を行おうとした西ベンガル警察の特殊部隊 (STF) との間で銃撃戦があり、被疑者 2 名が死亡、警察官 1 名が負傷した。死亡した被疑者の逃亡先の自宅からは自動拳銃 5 丁、実弾 89 発、現金 70 万ルピーが押収された。
- 6月18日、ジャールカンド州 Ranchi において、Ranchi から他州へ移動する乗客の RT-PCR 検査結果を偽装した容疑で 2 人が逮捕された。警察によると、容疑者は陰性証明書をパソコンで加工し、空港で乗客に渡していた。
- 6月、西ベンガル州コルカタ市内では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、

バス、電車等の公共交通機関が規制され、通勤等のために二輪車の利用が増加したことに伴い、二輪車の盗難件数が著しく増加した。規制前に比べると、月平均15~18台の二輪車の盗難件数が増加した。

- 6月22日、ビハール州 Muzaffarpur で、地元の市場で陶器店を営む男性が、帰宅途中に3人の武装した強盗に襲われ、銃で撃たれて死亡した。
- 6月23日、西ベンガル州コルカタ市内で、偽の新型コロナウイルスワクチン接種キャンペーンを実施して、市民からお金をだまし取ったとして、首謀者の男性が逮捕された。警察によると、被害者の数は約800人にのぼり、その数は増える可能性があるという。
- 6月24日、西ベンガル州 Mallickpur、Baruipur、Sonarpur、Ghutiari Sharif、Diamond Harbour 地区などの駅で、1,000人を超える通勤客が線路を塞ぎ、約3時間にわたって抗議活動を行った。参加者は、一刻も早く州内のローカル列車の運行を再開し、それが実現しない限り、スタッフ用の特別列車への乗車を許可するよう要求した。
- 6月24日、西ベンガル州 North 24 Parnagas 地区 Hansnabad で、約1,000人の建設業をはじめとする労働者が、政府からの現金援助と新型コロナウイルスによる規制の撤廃を求めて、Taki Road を約2時間にわたって封鎖した。
- 6月27日、西ベンガル州コルカタ市内 Ekbalpore 地区で、地元の犯罪者グループ同士の衝突があり、事態の鎮圧のために現場に駆けつけた警察官に向けて、けん銃が発砲された。

2 邦人に係る一般犯罪情勢

令和元年度においては、邦人の旅行者をターゲットにした事件が複数件発生していました。令和2年度においては、インド政府ならびに州政府によるロックダウンのため、邦人の旅行者数や在留邦人の外出の機会が減少しており、邦人の一般犯罪被害は減少しました。

2021年4月から6月（令和3年度第1四半期）にかけても、各州において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策措置による行動制限を講じたことなどから、当館では邦人の一般犯罪被害情報には接しておりません。

しかし、これは、犯罪が根絶された訳ではなく、市中で邦人が加害者に遭遇する機会が減少したことによるものであり、加害者は隙があるターゲットを常に探しています。

旅行者に対して、声をかけてくる人物には最大限用心し、不審な誘いや要求があった場合、断るか、それには応じず速やかにその場を離れる等といった対応が必要です。

たとえ、声をかけてきた人物と一緒にいる間、親切な振る舞いであったとしても、相手は巧みにだましてきている可能性があります。相手の突然の要求に不審を抱きながらも、これまでの経緯から信用した結果、被害に遭ってしまった事案がほとんどです。犯罪に巻き込まれないためには、常に細心の注意をはらい、相手の言動に不審な点が認められた場合は、問題がないと判断されるまで従わないように心がけてくださ

い。

当地では、親しくなったと思った頃に、信用したインド人から高額な保証金の支払いを要求されたり、預けた貴重品を持ち逃げたりされるなど邦人の被害が多く発生しておりますので、引き続き御注意ください。

(1) 殺人

邦人被害の事件には接していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件には接していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件には接していません。

(4) 詐欺・ぼったくり等

邦人被害の事件には接していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありません。(了)